

# auアセットマネジメント株式会社のご案内

2024年6月

■ 設定・運用は

**au** アセットマネジメント

商号等 auアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3062号  
金融商品仲介業者 関東財務局長(金仲)第872号  
確定拠出年金運営管理機関登録番号792  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# auアセットマネジメント株式会社について

## 会社概要

|         |                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 商号      | auアセットマネジメント株式会社<br>( 英文名 : au Asset Management Corporation )                |
| 設立年月日   | 2018年1月4日                                                                    |
| 資本金     | 20億円(資本準備金含む)                                                                |
| 事業内容    | 投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業、金融商品仲介業、確定拠出年金運営管理業                                |
| 代表取締役社長 | 清水 慎一                                                                        |
| 株主構成    | auフィナンシャルホールディングス株式会社 66.6%<br>株式会社大和証券グループ本社 33.4%                          |
| 所在地     | 〒101-0065<br>東京都千代田区西神田三丁目2番1号 千代田ファーストビル南館<br>03-5657-7185                  |
| 登録番号    | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3062号<br>金融商品仲介業者 関東財務局長(金仲)第872号<br>確定拠出年金運用管理機関登録番号792 |
| 加入協会    | 一般社団法人 投資信託協会<br>一般社団法人 日本投資顧問業協会                                            |

# 運用責任者のご紹介



## 主な経歴

- 運用経験年数 14 年（クオンツ 13 年、ジャッジメンタル 9 年）
- 専門領域マルチアセット、債券(Rates)、デリバティブ、為替
- 博士(工学)、MBA(Finance)
- 一橋大学非常勤講師(担当科目：投資戦略論)  
中央大学理工学研究科研究員(応用数学・人工知能と機械学習・最適化)  
一般社団法人ADS(オルタナティブデータサイエンス)リサーチアソシエーション理事  
一般社団法人日本投資顧問業協会寄附講義講師  
(大阪大学、神戸大学、東北大学、名古屋大学)  
海外学術論文誌査読者
- 日本応用数理学会(2022年)論文賞受賞  
人工知能学会金融情報学研究会(2017年) 優秀論文賞受賞  
その他、多数の国内外での学術研究業績有
- CFA Society Japan主催 JAPAN INVESTMENT CONFERENCE 2024  
「Unlocking the Potential of AI -AIの可能性を解き放つ-」(2024/5) の他、  
Bloomberg Buy-Side フォーラム(2019年、2020年)など多数のセミナーに登壇

## ～クオンツ、ジャッジメンタル、アカデミアの融合～

「お客様へ最高のパフォーマンスをお返す」を旗標とし、業界慣習にとられない大胆な商品・サービスの提供に拘りを持っております。またグローバル水準の運用には産学連携が不可欠と考えており、実務・学術の双方で培ったクオンツ、ジャッジメンタル、アカデミアでの経験と稀有な立場を活かし、産学連携が真に機能する社会形成を目指しています。

- 2010年4月～2015年3月：メガバンク  
主として市場部門にて直物為替、通貨オプション、債券先物などの自己勘定取引やアルゴリズム取引・開発やデスククオンツに従事。
- 2015年4月～2018年9月：メガバンク系運用会社  
ジャッジメンタルの外債運用チームにて、主担当者として2,000億円程の先進国債券ファンドなどを運用。またクオンツのマルチアセット運用チームにて運用・モデル開発等に従事し、自身が主体で組成したクオンツ型マルチアセットファンドは1年余りで数百億円程まで残高が拡大。
- 2018年10月～2021年6月：生保系運用会社  
全資産クラスを扱うクオンツ運用チームにて、マルチアセットファンドの運用やモデル開発、準公的機関からの委託研究などに従事。また残高 1 兆円の同社旗艦マルチアセットファンドへのモデル提供や助言、外部委託運用のデューデリチームにて海外ヘッジファンドのクオンツモデル調査も担当。
- 2021年8月～現在に至る：auアセットマネジメント  
運用部門統括責任者として、トレーディングやバックオフィス体制の構築からスタートし、自ら開発したクオンツモデルを組み込んだファンドを多数ローンチし実績を上げる。マネジメントに留まらず、分析・コーディングや売買判断も行い、クオンツ、ジャッジメンタル、アカデミアの融合をCIOとして自ら体現している。

## 弊社の特色、得意とする運用手法/スタイル

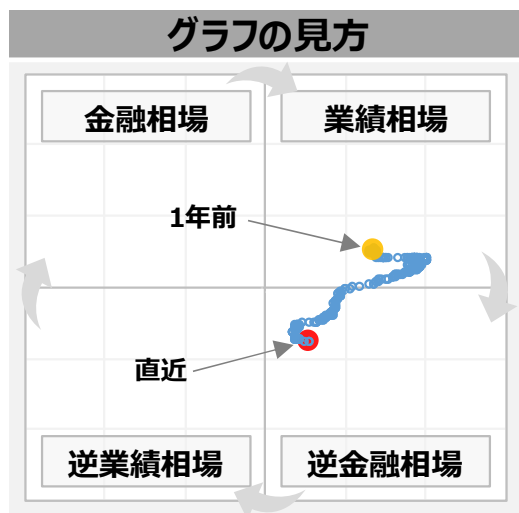
- auアセットマネジメントは、auフィナンシャルホールディングスにおける中核資産運用会社です。
- グローバルでトップティアに入るブティック型運用会社を目指し、TOPクオリティの運用・サービスをご提供いたします。適格機関投資家のお客さまに、ニーズに合わせたオーダーメイド型の自社運用商品を設計させて頂いております。
- 産学連携で得たクオンツ技術を応用し、グローバル水準のハイレベルな運用を実現しております。東出（最高運用責任者、CIO）を中心とし、最先端学術研究に基づいたクオンツをベースに、ジャッジメンタルの視点も取り入れたストーリー性のあるモデルを様々なアセットクラスに応用しております。

# クオンツ運用について

## 稼働しているクオンツエンジンの例

### 局面判定

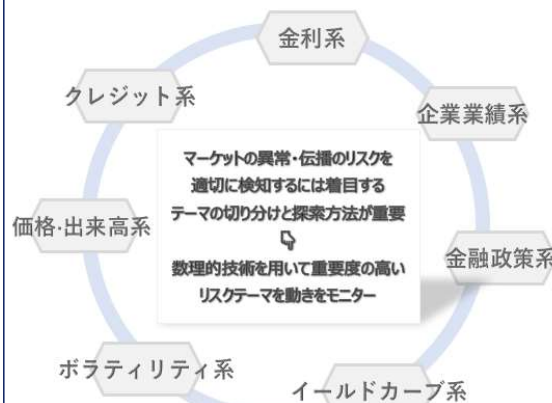
景気循環を背景とした4つの相場局面では、相場毎に各資産のリターン分布に特徴が出ることが想定され、各相場に対応した適切な資産配分・銘柄選択を行い、リターンの獲得・向上が期待できるよう、相場局面を正しく判定させるもの。



### Global Market Monitor

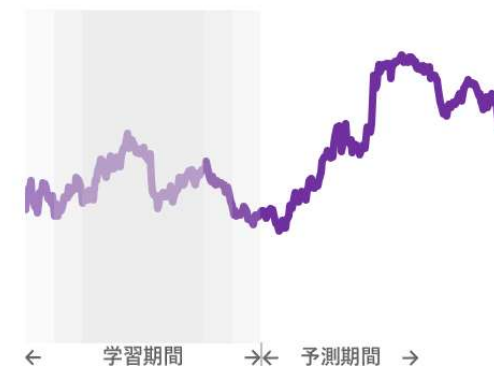
リスクパリティ運用では常にポジションを保有し続けるため、分散効果でカバーできない一時的なショックが起きた場合の影響を免れない弱点がある。アカデミア最先端技術を土台に実務上有効な手法を選別した上で、独自のドローダウン抑制モデルを構築し、相場下落局面におけるドローダウン抑制を図るもの。

2,000超のマーケット指標を機械学習や深層学習等のテクノロジーを駆使しながら処理し、異常検知するシステムを構築



### Performance Monitor

ファンドのパフォーマンス推移の特徴を継続的に学習させ突発的に生じたイベントが、継続してファンドパフォーマンスを劣化させるものであるか判断するモデルを構築



- 実務(ジャッジメント)と理論(クオンツ)の双方を踏まえた戦略構築
- 期待値が高い戦略を構築するためのパラメータチューニング
- グローバルの最新情報をインプットし、モデルフィッティングを反復

常にこれら3点をアップデートすることで  
パフォーマンス向上を目指している

# クオンツモデルを組み込んだ私募ファンド例

## auAM・マルチアセット・プロファンドⅡ <適格機関投資家限定>

### ファンド概要

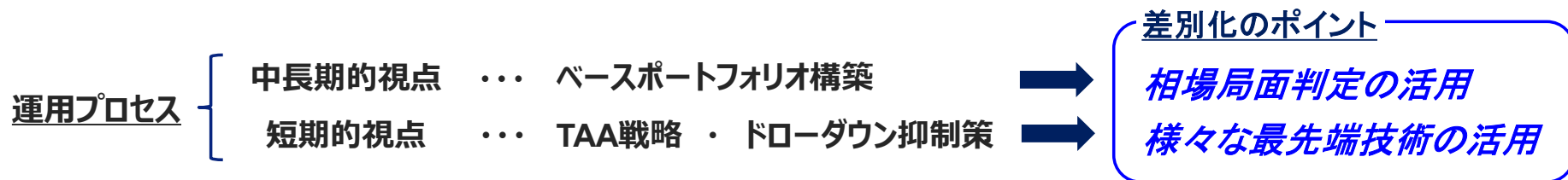
|      |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用関連 | ファンドコンセプト | <ul style="list-style-type: none"><li>経済理論に裏付けされた中長期の相場局面分析と、膨大なデータ分析による短期のマーケット分析を組み合わせた株式・債券先物のロングオンリー運用</li><li>理論的背景並びにジャッジメンタルの視点と不整合がない(≠“まぐれ”、データマイニングによって生み出される戦略でない)、クオンツ運用</li><li>資産の分散化に加え、戦術やテクノロジーの分散化も行うことで、より頑健な戦略を構築</li><li>日進月歩の金融理論・テクノロジーを、学术界やFintech企業との協働しながら適宜導入し、戦略のクオリティ維持を継続</li></ul> |
|      | ファンド運用方針  | <ul style="list-style-type: none"><li>膨大なデータ処理、コンスタントな投資判断を行うためにクオンツベースの運用を基本とする</li><li>相場環境に大きな変化があった場合等には投入データの変更、モデルの改良を行う</li></ul>                                                                                                                                                                           |
|      | 主な投資対象    | 日・米・加・独・仏・英・豪 7か国の株式先物・債券先物                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|      | ベンチマーク    | ありません（参考指数：7か国2資産の計14資産からなるリスクパリティ運用（リスク3.5%調整）                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|      | 目標リターン    | 中長期的にシャープレシオ 1.0 以上                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|      | 想定リスク     | 中長期的に中心3.5%程度（±1.5%）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|      | レバレッジ     | 200%以内                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|      | 為替リスク     | 為替予約を用いて原則フルヘッジ                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

※資金動向、市況動向等によっては上記の運用ができない場合があります。

※当戦略はドローダウン抑制策機能を実装しており、一時的に投資資金の一部または全てをキャッシュへ退避することがあります。

# クオンツモデルを組み込んだ私募ファンド例

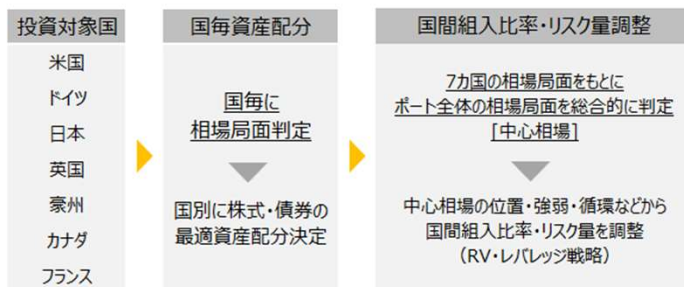
## auAM・マルチアセット・プロファンドⅡ <適格機関投資家限定>



### 運用プロセスの全体像

#### ベースポート構築 (中長期的視点)

- ・投資対象7カ国の各国毎に相場局面判定を行い、最適資産配分を決定
- ・独自のリスク計測により7カ国を合成した上で、国間組入比率・リスク量調整を実施



#### TAA戦略 (短期的視点)

- ・多様な観測期間で、高値圏或いは安値圏への到来有無を測定
- ・レンジ上下限付近で利食い・逆張りを行い、細かいリターンの積み上げを狙う

#### ドローダウン抑制策 (短期的視点)

- ・2種類のドローダウン抑制モデルを搭載
- ・各モデルの点灯状況により、最大100%キャッシュ化を行いドローダウンを抑制

| ドローダウン抑制モデル                   | 内容                                                          |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ① Global Market Monitor (GMM) | 人間が追えない大量データを機械学習や深層学習等のテクノロジーを駆使して異常検知する事前検知モデル。国別・テーマ別に検知 |
| ② Performance Monitor (PM)    | PLの推移を継続的に学習させ、突発的・累積的なマイナスPLが継続してPLを悪化させるものであるか判断する事後検知モデル |

#### 最終ポジション調整

ポートフォリオの制約条件を加えて最終的なウェイトを算出  
想定リスクは中長期的に中心3.5%程度 (±1.5%)

## 私募ファンドに関するお問い合わせ

- 適格機関投資家のお客さまに、  
ニーズに合わせたオーダーメイド型の自社運用商品  
を設計させていただいております。
- アセットクラスの選択、運用手法などについて、  
以下までお気軽にお問い合わせください。

auアセットマネジメント プロダクト営業部  
03-6757-3411（営業日 9:00～17:00）  
HP <https://www.kddi-am.com>

## 留意事項

■当資料は、auアセットマネジメント株式会社により作成された弊社ご案内資料です。ご紹介ファンドの取得をご希望の場合には商品概要書および約款を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

販売会社等についてのお問い合わせ

⇒auアセットマネジメント プロダクト営業部 03-6757-3411（営業日9:00～17:00）

HP <https://www.kddi-am.com>

- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 適格機関投資家の皆様は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当資料は弊社の概要と主なファンドのご紹介等を目的としており、金融商品取引法等に関する法律に基づく開示資料ではありません。
- ご紹介ファンドは適格機関投資家私募に該当しますので、金融商品取引法第4条第1項の規定による内閣総理大臣への届出は行ないません。
- ご紹介ファンドは適格機関投資家私募に該当しますので、次の販売の条件が付されます。
- ご紹介ファンドの受益権を取得された方が、その受益権を適格機関投資家（金融商品取引法第2条に規定する定義に関する内閣府令第10条第1項に規定する者といいます）に譲渡する場合以外の場合にはその譲渡を行なわないことを約すること。
- 貴社が本有価証券を適格機関投資家に転売される場合には、前2点に記載される内容を、当該転売により本有価証券を取得することとなる適格機関投資家に対しあらかじめ又は同時に書面で告知しなければならないことにご留意ください。